

製品・サービス動向-国内

■個別指導 時習学館：手書きでメモができる 遠隔授業・テレビ会議システム「ネットノート」の提供開始

(value press! 8月9日)

個別指導 時習学館 (<http://net-note.net/>) (東京都町田市) は、手書きでメモができる遠隔授業・テレビ会議システム「ネットノート」を開発し、提供開始した。

ネットノートは、従来のテレビ会議システムに加えて、数式や図、イラストなどをフリーハンドで描けるため、言葉ではなかなか伝わりにくいことも簡単に共有できるところが特長。もちろん、ファイルや資料の共有も行える。加えて、チャット機能もあるため、文字でのやり取りも可能となっている。

ネット上での個別指導、遠隔地でのテレビ会議、何かの理由で通塾のできない子供への教育機会の提供など、さまざまな場面で利用できるとしている。

費用については、10時間3,000円となっている。1時間あたり300円の低コストという。現在、モニター会員・無料お試しキャンペーンを実施している。

■ルーシッド：電話会議サービス「Bizspeak」 に新たに5つの新機能を追加

(7月25日)

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社が提供する電話会議サービス「Bizspeak」(<https://bizspeak.jp/>)において、新たに5つの新機能を追加したと発表。

Bizspeakでは、もっと便利に電話会議を利用するために今回の新機能と提供開始する。

(1) 会議中の時間延長：会議管理画面から「会議延長」を選び、会議時間を30分単位で延長することが可能な機能。1会議室あたり30分540円～、他のBizspeakユーザの会議予約状況によっては、延長または追加ができない場合がある。

(2) 会議中の参加者追加：会議管理画面から「参加者追加」で最大30人まで参加者を追加することができる。ただし、他のBizspeakユーザの会議予約状況によっては、延長または追加ができない場合がある。

(3) 参加者呼出し機能：会議管理画面の「参加者呼出」から呼び出したい参加者を選択、同社の電話会議システムより参加者へ発信し、会議に参加できるもの。なお、予約会議のみ利用可能な機能で、会議時の通話料は電話会議主催者のアカウントに課金される形(1分あたり36円)。

(4) スケジュール発信：会議管理画面の「参加者呼出」で、会議時刻が来たらシステムより自動的に参加者に発信を行うもの。

(5) マルチデバイス画面：会議の予約や人数の追加、時間の延長などの設定を行う Bizspeak 管理画面「マイページ」がスマートフォンやタブレットからも

アクセスし、設定操作が可能になった。

■ スピンシェル：ウェブ接客サービス 「LiveCall」の新しい機能として管理コン ソールをリリース

(7月28日)

スピンシェル株式会社（東京都港区）は、同社が提供するビデオチャットを使ったウェブ接客サービス「LiveCall(ライブコール)」(<https://livecall.jp/>)の新しい機能として、管理者が接客スタッフの状況をリアルタイムに把握できる管理コンソールをリリースした。

LiveCallは、WebRTCを採用することで、対応するブラウザさえあればアプリやプラグイン無しでも、ビデオ・音声・テキストチャットを使ったウェブ接客ができるクラウドサービス。

管理コンソールの主な機能は以下の通り。接客品質の向上に役立てたり、複数の拠点にまたがる接客スタッフを一元的に管理できるようになるメリットがある。

(1) 管理者は接客スタッフ全員の状況を一覧で表示し、現在対応中の通話情報に加え、在籍・離席ステータスを確認できる。

(2) 過去の対応履歴を遡って確認することができる。メモの確認のほか、録画したビデオチャットを再生することもできる。CSVファイルとしてエクスポートできるので分析にも活用できるとしている。

(3) 選択した期間中の対応時間と対応件数の統計データをグラフ形式で表示することができる。繁忙期や閑散期をはじめ、件数あたりの対応時間など、統計データを視覚的に確認することができる。

ウェブ接客の利点としては、顧客が持つ疑問や不安をその場で解決することで、離脱を防いで、コンバージョンへとつなげることができる。特に、ビデオチャットは、実際の商品を見せながら接客できるので、写真や説明文を見ただけではわかりづらい商品の質感や細

部を伝えることが可能という。

ビジネス動向-国内

■ ニューロネット：町田市トライアル発注認定制度で2商品同時認定授与

(8月6日)

ニューロネット株式会社(<http://www.neuronet.co.jp/>)（東京都町田市）は、同社の「SaaSBoard」および「Moshi Moshi Interactive」について、東京都町田市が発注・利用する優れた新商品として認め、町田市トライアル発注認定を授与されたと発表した。

町田市では、市内の中小企業が生産する新規性の高い優れた新商品の普及を応援するため、市が新商品を認定してPRなどを行うとともに、その一部を試験的に購入し評価をする「町田市トライアル発注認定制度」を実施している。第4回目となる今回、ニューロネットのSaaSBoardおよびMoshi Moshi Interactiveは優れた商品として2商品同時に認められ、町田市より認定書を授与された。

ニューロネットによると、SaaSBoardが低価格で多種類のコンテンツ共有が可能な使い勝手の良いシステムである点、テレワーキング（在宅勤務）などを通じた業務効率化、ワークライフバランスの改善も期待される点が評価されたという。

一方、Moshi Moshi Interactiveは、従来コールセンターやネット通販ではできなかった対面対応・説明・申込の支援を、タブレット/スマートフォン上での双方向型映像「Web店舗」「Web接客」で実現できる点、また、外国人旅行者の増加や2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「対面通訳」や「対面ガイド」など「お・も・て・な・し対応」の実現できる点が高く評価されたという。

ビジネス動向-海外

■LogMeIn 社：シトリックス・システムズ社の GoTo ファミリー製品事業を約 16 億ドルで合併

(7月26日)

LogMeIn 社（米国・マサチューセッツ州）が、シトリックス・システムズ社（米国・フロリダ州）の GoTo ファミリー製品事業部門の合併を発表した。

合併は、昨今のトレンドである、労働者の働き方の変化（workforce mobility）、クラウドベースのアプリケーション導入の広がり、製品同士の連携（connected products）の増加などに対応していく狙いがある。

企業や個人にリモートアクセスなどを提供する LogMeIn 社のクラウドサービスと、GoTo ファミリーとを組み合わせることで、トレンドに対応する製品ポートフォリオを実現する。なお、GoTo ファミリーには、Web 会議で知名度がある「GoToMeeting」のほか、「GoToAssist」「GoToMyPC」「GoToTraining」「GoToWebinar」「Grasshopper」「OpenVoice」などがある。

合併に関わる費用は約 18 億ドルで、多様で革新的な製品ポートフォリオを提供する SaaS のリーディングカンパニーが誕生する。合併企業の売上は 10 億ドル規模、顧客数は、全世界 200 万社を超える。両社の株主は合併企業の株を 50%ずつ所有することになる。本社は現在 LogMeIn 社の本社があるボストンに置く。

合併企業の経営陣については、CEO には、LogMeIn 社の社長兼 CEO Bill Wgner 氏が、CFO には、LogMeIn 社の Ed Herdiech 氏がそれぞれ就任する。また、Citrix 社からも経営幹部が派遣されるようだ。取締役会（9 名）については LogMeIn 社から現行の 5 名が就任し、Citrix 社から 4 名指名される予定。

LogMeIn 社と Go To ファミリー事業は、顧客のビジネスおよびパーソナルなコミュニケーションをシンプ

ルにすることを事業目的としており、顧客の期待を上回る革新的なソリューションの提供を目指す。

一方、Go To ファミリー製品事業を手放す Citrix 社としては、今後、アプリケーションとデータのセキュアな伝送するソリューションやサービスにフォーカスした戦略に注力していく考えだ。昨年 11 月に Go To ファミリー製品事業をスピンオフする決定をした経緯がある。今回の合併により、合併によるシナジー効果とともに、株主に対してメリットをもたらすと期待している。

Report

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■バイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■バイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■バイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社バイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：8月・9月

会場：(東京) バイキューブ本社

(大阪) バイキューブ 大阪営業所

(名古屋) 名古屋プライムセントラルタワー

主催：株式会社バイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

■Office365 に加えたい、たった1つのコラボレーション連携機能体験セミナー

日時：8月18日(木)、25日(木)

16:00～17:30(受付開始：15:45～)

会場：IJ グローバル本社(東京都千代田区)

主催：株式会社 IJ グローバルソリューションズ

詳細・申込：

http://www.ijglobal.co.jp/news/event/2016/event_20160804.html

■8/26 オフィス & ワークスタイル イノベーションセミナー 会社の“当たり前”を疑おう - チームが活きる「共創型オフィス」のつくりかた-

日時：8月26日(金) 13:00～17:00(開場：12:30～)

会場：イトーキ東京イノベーションセンター

主催：株式会社イトーキ

共催：アイティメディア株式会社/パイオニア VC 株式会社/株式会社電算システム/ヤマハ株式会社

詳細・申込：<https://www.synqa.jp/event/3946/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック(遠隔会議&UCトレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter(CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト(dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年8月15日号おわり

ホームページ: <http://cna.jp> お問い合わせ: cna@cna.jp